

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	平成29年度第2回加東市文化財保護審議会
開催日時	平成30年3月25日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	加東市滝野公民館2階講座室(加東市下滝野1369番地)
出席及び欠席委員の氏名	
(出席委員6人)瀧原 務、神崎 壽福、湖内 克利、中西 正和、米田 豊、小山 真永	
説明のため出席した者の職氏名	
無し	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
加東市教育委員会 生涯学習課 課長 荒生 和也、主幹 吉田 浩康、主査 藤原 光平	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	
1 会議内容 (1) 平成29年度加東市文化財事業報告及び平成30年度加東市文化財事業(案)について (2) その他	
2 会議の経過 別紙のとおり	

平成30年5月25日

会長 瀧原 務
署名人 湖内 克利
署名人 神崎 壽福

(別紙)

平成29年度第2回加東市文化財保護審議会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	<p>1 開会 2 会長挨拶 3 会議内容 (1) 平成29年度文化財事業報告及び平成30年度加東市文化財事業 (案)について 資料に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>「見る・触れる」文化財教室の広報活動を上手に行わないと参加者が集まらないのではないか。</p>
事務局	<p>広報かとうに記事の掲載を行い、当市の広報部門を通じて新聞社に情報提供を行いながら、引き続き広報活動を続けていきます。 また、地域の歴史研究会等にも働きかけを行いながら、広報活動を推し進めていくよう努力いたします。</p>
委員 事務局	<p>平成30年度の「見る・触れる」文化財教室の年間計画は出来ているのか。 内容については、その時々の新しい情報を取り入れながら、参加者により興味を持っていただけるよう配慮を行いたいと考えていますので、現段階においてはテーマを決めていません。</p>
委員 事務局	<p>平成30年度の「見る・触れる」文化財教室の年間日時だけでも決まっていれば、参加者は予定が立てやすいのではないか。 年間スケジュールについては、決まっています。市ホームページ上に現在、掲載しています。平成30年度の「見る・触れる」文化財教室の年間日程は、4月28日、7月28日、10月20日、1月26日で、いずれも土曜日の午前10時から午前11時30分までを予定しています。</p>
委員 事務局	<p>広報紙や、可能であれば新聞にも掲載できれば、より幅広い世代に周知出来るのではないか。 ご希望に添えるよう、鋭意努力します。</p>
事務局	<p>資料に基づき、平成30年度加東市文化財事業(案)について、事務局から説明</p>
委員	<p>平成30年度実施予定である首都圏での加東市文化財展(仮)は、単発的なものか。費用は、かなり高額だと思う。正直言うと、その費用を地元で何か使う分に回した方が、加東市にとってもっと役立つのではないか。東京の人は、はつきり言って「加東市」ってどこかも分からず、だから意味があるのだと言えばそれはそうかもしれないが。 例えば、兵庫県の中で加東市の文化財展をやるのであれば、まだ何となく有意義なものだと思うが、開催地が東京だと加東市にとって本当に有意義な事業となりえるかどうかは、難しいのではないか。</p>

事務局 委員	<p>他の自治体での成功例を調べてみると、滋賀県の長浜市では東京藝術大学と提携して文化財展を開催しています。東京の上野の方でスペースを構えて、何ヶ月かごとに仏像を取り替えたりしています。われわれ事務局も現地に行きましたが、結構ひっつきりなしにお客さんがお見えになられて、また、東京から滋賀県長浜市に行かれる方も増えているというようなことをお聞きすると、とても価値のあるものだと感じています。</p> <p>美術館の方も前向きにご協力をいただき、こちらからお願ひすることだけではなくて、相手方からも提案いただいて、予算もつけていただいております。</p> <p>確かにこの予算額が高いのか、安いのか、これだけの投資を本当に必要があるのかについて、いろいろ意見はありますけれども、ぜひとも応援していただいて効果が出るようにはしていきたいと思っています。</p> <p>それと、加東市には関東加東応援団という組織がありますので、ここからでもPRをしていただいて、出来るだけ多くの方にご覧になっていただきたいと考えます。そして加東市が日本の中の、兵庫県の中のどの辺にあるのかということをお知らせできたらと思っております。</p> <p>これをきっかけといたしまして、加東市の文化財を見ていただいて、その評価を持ち帰って、相対的に非常に価値が高いものだということを再確認させていただきたいと思っています。</p> <p>滋賀県の長浜市は、割と以前から秀吉の居城があったところだとかというのでネームバリューがあるが、加東市は、たぶん首都圏では誰も知らない、ほとんどの人が知らないと思う。</p> <p>加東市独自で文化財展を開催するのではなく、例えば、周辺自治体と一緒に、この辺りの仏教美術を中心にやるのであれば、非常に独自のものが結構あり、紹介する価値はあると思う。だから地域一体となって文化財展をやるのであれば、まだしも、「そういうところの地域があるんだな。」という感じがするが、自治体単位でやることにはどうかという感じがする。</p> <p>それから、国の重要文化財に指定されている銅造如来坐像が出展されないし、清水寺の大刀3口も出展されない。文化財展の目玉といったら、大体、国の重要文化財が出てきて、「これはすばらしいな。」と思う訳だが、そういう国の重要文化財が出てこないのであれば、なかなか人を呼ぶとかというのは難しいのではないか。</p> <p>この予算は議会を通っているのか。</p> <p>予算委員会は終わりました。議会の最終日は、3月27日となっています。</p> <p>これだけのお金を使うのであれば、首都圏で文化財展を開催するよりは、文化財係に人を一人増やして欲しいというのが正直なところである。その方が、地域の文化財保護の意味では、絶対役に立つ。広報活動は別として、文化財保護という観点から言えば、人を増やしたほうが良い。</p> <p>また実際、外に対して加東市がどれくらい知られているのかという問題も有るが、それだけでなく、地域の子供たちにも、「ああ、加東市ってすごいんだ。こんなもんがあるんだ。」と加東市の文化財についてどの程度</p>
事務局 委員	

	知られているか、疑問に思う。 最近、現職を離れて、あちらこちらの文化財の講座に行くが、参加している人は、年配の方ばかりである。若い人たちが地域の歴史に興味を持つてもらう、それこそ、小学生や中学生辺りにそういう地域に対する芽というものを育ててやらないと、歴史に対する興味・関心はなかなか育っていかない。具体的な地域にある文化財の実物に触れると、喜びみたいなものがある。そういうことももう少し考えた方が良いのではないか。文化財の講座が、年配の方の趣味だけにならなければいけない。
事務局	例年ですと、毎年地域のお堂とか地区の石造物の調査をしたりして、地域に入って調査をさせていただいて、その成果というものを地区にお返ししていくという作業をしています。成果を報告した上で、地区のほうに少し働きかけをして、説明する機会を設けさせてもらえないだろうかということを伝え、受けていただける所も多くなっています。 出来ればその中で、地区の役員だけでなく、基本的には全戸に触れ回つて、回覧していただいて、三世代交流という形で、お子さんも一緒に連れてきてください、と呼びかけています。実際に、西古瀬とか河高の地域でまち歩きを企画した際には、子連れで来ていただいているのが比較的多かったと記憶しています。 こういったことを今後も出来るだけ実施していきたいと思っています。草の根的にやることで、少しは改善されるのかなと思います。現状その程度かもしれないですが、地道にやっていきたいと考えています。
委員	また、関東での文化財展をする中で、加東市を紹介をするという形で、「図録」というのは大層ですが、一応そういったものを多摩美術大学様と一緒に作成しようと考えています。 その中で一つのコンセプトとして、ただのよくある展覧会の図録というだけではなくて、資料・写真もあり、加東市のガイドブック的な要素を盛り込んで一つの柱に据えていきたいと考えています。 展覧会を機会にそういうものを作って、それを見ていただければ加東市の文化財というものが、ここにこれだけあって、というのがある程度わかるようにして、それを持って現地に行って頂くことも、見えるものについては見学が可能だというものを作成したいと考えています。
委員	そういう意味では、他の部局と協力してそういうのを作られて、それこそ、ガイドブック的なものを作れば、その図録が将来、加東市の文化財に関する教科書になるくらいのものになる可能性もある。 首都圏での加東市文化財展の予算額が、約1000万円である。 この1000万円は、我々の税金である。効果的に使ってもらいたい。
事務局	引き続き、平成30年度加東市文化財事業（案）について、事務局から説明
委員	以前の第1回文化財保護審議会において質問し、非常勤でもいいから文化財係として一人職員を増やして欲しいという話は、どうなったか。

事務局	平成30年度に組織改革を予定しておりますが、人事のほうにも増員の要望をしていますが、具体的には良い返事を頂いていない状況です。
委員	文化財保護から言えば、人を増やして、また最初に言ったような、地域への啓蒙活動を積極的にやるためにも、やっぱり人は必要だと思う。だから、そのあたり、やっぱり加東市の文化財保護に対する姿勢が問われているような気がする。
事務局	西脇市でも一人、人を雇っている。考えていただきたい。 ありがとうございます。貴重なご意見について、引き続き要望していくたいと思います。